



Quha Sento

ユーザマニュアル



Quha Sento 非接触型呼気スイッチ

Quha Sentoは、Zono専用の非接触型呼気スイッチです。
息を短く吹くと左クリック、長く吹くとマウスドラッグができます。



準備

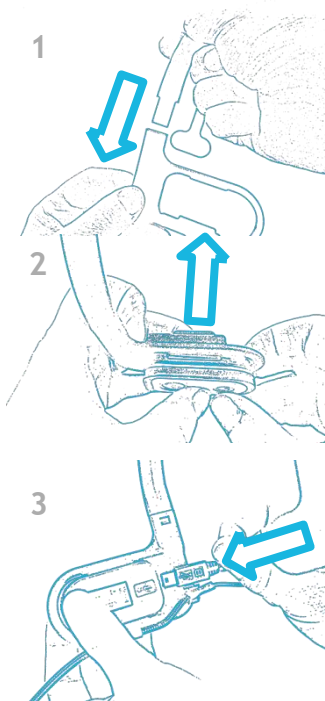
Quha Sentoはヘッドバンドとクレードルで構成されています。クレードルには呼気センサーのアームが付いています。

1. ヘッドバンドをクレードルの差込口に奥まで差し込んでください。
一度差し込んだ後は外さず、取りつけたままにしてください。

2. 図のようにZonoの送信機本体をクレードルに押し込みます。

3. SentoのコネクタをZono送信機本体の充電口に差し込みます。

4. これでSentoを使う準備ができました。

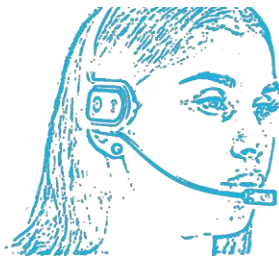


Sentoを使う

アームの先端にある呼気センサーが、口から出る呼気を検知します。センサーに当たる呼気が少ないと正確に検知されないのので、呼気が当たりやすい位置にセンサーをセットしてください。

ヘッドバンドを頭に着けた状態で、呼気センサーが適切な位置にくるようアームを動かして調整してください。

一般的な距離は1~5 cmです。センサーが呼気を検知しやすくするために、何度か位置を変えて試してみてください。



位置決めのために簡単なテストをしましょう。センサーに息を吹きかければクリックします。息を吹きかけ続けるとドラッグになり、吹きかけ続けている間ドラッグ状態を継続します。

互換性

Sentoは、ZonoおよびQuhaユニバーサルコネクションアダプタと互換性があります。

トラブルシューティング

センサーに吹きかけてもクリックできない

呼気がしっかり当たる位置にセンサーがくるよう、前ページを確認して位置や距離を調整してください。

意図しないクリックが発生する

会話中の呼気をセンサーが検知してしまい、意図しないクリックが発声することがあります。この場合、センサーを顎の前、下唇のやや下あたりに設置してみてください。または、センサーの距離を遠くにしてみてください。

Sentoを装着する時に衣服や体が接触して、センサーが反応してしまっている可能性もあります。Sentoを頭部に装着した後でZonoの送信機をオンにしてください。（オンにしたまま装着すると不用意なクリックが発生してトラブルになる可能性があります。）

意図しないドラッグ状態

Zonoの"ダブルクリックアシスト"がオンになっていると、特定のソフトウェアを使用中にこの問題が起きる可能性があります。この場合は、調整ツールで"ダブルクリックアシスト"をオフにしてください。

Sentoのお手入れ

Sentoは非接触型なので、汚れにくい商品です。もし、センサーに埃や唾液が付いた場合は、Quhaが提供するクリーニングスプレーをお使いください。安全なお手入れの方法については販売店にご相談ください。

製品の廃棄について

お住いの自治体の廃棄に関する条例や規則をご確認ください。



欧州規格

本製品はEUの安全・健康・環境・消費者保護の規制を遵守して製造されています。



FCC 規格

このデバイスは FCC 規則の第15部に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます: (1) 電波障害を起こさないこと (2) 望ましくない操作に起因するものを含む、あらゆる電波干渉に対して正常に動作すること。



製品保証

購入した日から2年間

© 2016 Quha oy. Quha oy is not responsible for possible errors in this user manual. Quha oy reserves the right to revise the content of this user manual.



Designed and manufactured in
Finland by Quha.

www.quha.com

Copyright 2016 Quha oy.

Quha, the Q-mark, Quha Zono and Quha Sento are
trademarks or registered trademarks of Quha oy.